

今後の問題ですが、小委員会をつくり、よく研究したいと思います。どうぞ今後よろしくお願い致します。

⑨社会奉仕活動について

(追加)

特別代表 富田 恭 君

北村さんのお話に付け加えさせていただきます。金をかけるばかりが社会奉仕ではありません。函館市に於いてどのような仕事をせねばならぬかを考えてみましょう。例えば今年オリンピックの年であるので、街をきれいにする運動があります。その為には先ず塵箱を造ります。それを市民に真似させるのが目的であります。つまり啓蒙です。市全部に塵箱を造つてやるのが目的ではありません、それが新聞等でP.R.されることがプラスになつてゆきます。即ちロータリアンは、指導的立場に立つて市民を啓蒙すべきなのであります。

又且つて小児麻疹が流行した時、函館クラブ、函館東クラブ、医師等で、鉄の肺が必要だと声をあげ、運動が実を結びました。これなどは貴重な経験であつたと思うのです。

ロータリー用語と解説 (その1)

特別代表

新クラブ設立に際して、スポンサークラブの堪能なるロータリアンをガバナーが任命しクラブの結成に至るまでの細目について、ガバナーを代表して事を行う権限を有している。任期は仮クラブ結成までとは限らず、当分は新クラブ創立の密接なる関係者として特別の奉任をする。又仮クラブが出来、国際ロータリーに加盟承認されても少くとも1年間は、スポンサークラブが面倒をみるのが厚則となつている。

アツセンブリー

協議会のことである。クラブ・アツセンブリー(クラブ協議会)、ディストリクト・アツセンブリー(地区協議会)、及びインターナショナル・アツセンブリー(国際協議会)等がある。

◆出席報告

会員数 30名 出席 27名 欠席 3名 他クラブ出席 1名  
出席合計 28名 出席率 93.33%

次回のスピーチ ♪木材業に就いて♪ 船矢健喜智君  
♪パンの話♪ 木屋守勉君

次回例会日 8月5日

The Weekly Report of Hakodate North R.C.

このマークを真に光らせよう



神山春景

深瀬会員画

通算 第7号

1964-7-29

函館北ロータリークラブ

第7回例会

例会場 明治生命館

例会日 毎週水曜日

12.30~13.30

- ◆斉 唱 ♪手に手つないで♪
- ◆司 会 新 会長
- ◆ピ ジ タ ー 須田広之君 他9名(函館R.C.)  
新谷武四郎君 他12名(函館東R.C.)

◆会長挨拶

- ①ユネスコのアジア・アラブ連合より27名の留学生が月末に来訪されますが、この方々の家庭宿泊の依頼を受けました。当クラブは3名引受けます。(2名欠席)接待費は、一部ロータリーとライオンズの両クラブで負担することになりました。
- ②本日の例会後、チャーターナイトの準備について理事会を開催します。

◆幹事報告

- ①来る8月11日午後6時より「館」で第1回クラブアツセンブリーを行います。
- ②バツヂの予備が必要の方は申し込んで下さい。1箇200円です。
- ③印刷所の都合でウイクリーが遅れます。お詫び申し上げます。

◆スピーチ

- ①木材の話 船矢健喜智君  
木材業の特質は生物を相手にすることです。量と質を決定するのは生物自身の力なの

です。従来の日本林業は生長した量だけを、而も林道のあるところからだけ伐採して間に合わせていました。然しこれでは木材の需要が著しく殖えた今日、供給に追いつきません。ではどうすれば良いか。そこで昭和33年に林力増殖計画が出来、それを機会に木材業界が転換しました。つまり山を皆伐して、その跡に生長率の高い木を植えると言うのです。これに対して反対が occurred。一つは学者グループで、従来の学説では半分だけ伐り、二次林が生長する余地を残すべしと教えていました。もう一つは業界で、以前は成熟した木材だけを使用していたので、未熟の木材が混じつては困ると言う反対でした。然し林野は踏み切りました。それから5年、低地で風通しの悪い処では新方式が成功し、山の中段より上は学者グループの説の様に不成功に終わりました。現在では両方を採用しています。一方業界としては、未熟材(低質材)を生かす方途が研究されました。結局未熟材を中に入れ、表面を成熟材(良質材)で薄く覆う方法が成功しました。膨張と収縮の関係も良くて狂いが少く、美しさの点でも優れており、非常に広範囲に使われる様になりました。このことは、木材業界が逆境に立たされたが為に、むしろ成功したと言えましよう

②パンの話

木屋守迪君

日本を含む東南アジアでは米が主食で、欧米ではパンが主食です。米食の国では副食物が粗末になり、逆にパン食の国ではバターその他栄養物をよくとると言う大きな違いがあります。ノーベル賞受賞者はパン食の国から多数出ており、又大脳生理学の權威、慶応の林教授は、パン食の方の頭脳が勝れていると言っています。人類の主食の文化的発展道程を形態的に見ると四つに分類されます。重湯、粥、平焼及びパンの形態です。パンが世界で最初につくられたのは古代エジプトで、日本に伝えられたのは400年前ポルトガル人が欽砲を伝えた時です。その後鎖国令が布かれた為パン食が跡絶えました。パンを始めにつくった日本人は伊豆にら山の江川大郎左工門で、1913年4月12日でした。その後各藩が挙つて研究しましたが、軍事機密的なものであつたのでうまくゆかず普及しませんでした。パン屋としては明治3年の木村屋が元祖で、2年後にアンパンがつくられています。パン食が真剣にとりあげられたのは大正年間の富山の米騒動の時からです。あまり伸びませんでした。戦後の食糧難により、今度は本確的にパン食が発展し、現在パン工場は8017あるそうです。パンは近代生活に於いて、栄養があり、健康をつくり、頭脳を良くする優秀な食物であると言うのが結論であります。

◆出席報告

会員数 30名 出席 26名 他クラブ出席 2名 出席合計 28名(出席率 93.33%)

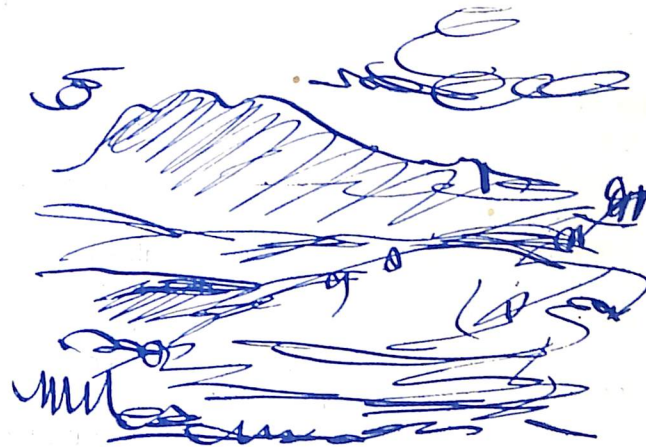
今回の卓話 今宮信雄君 門田豊君

次回例会日 8月12日



The Weekly Report of Hakodate North R. C.

このマークを真に光らせよう



三森山

深瀬会員画

通算 第8号  
1964-8-5  
函館北ロータリークラブ

第8回例会

例会場 明治生命館  
例会日 毎週水曜日  
12.30~13.30

- ◆斉 唱 「君が代」 「それでこそロータリー」
- ◆司 会 新 会長
- ◆ゲ ス ト ガートルード・H・セルコウ女史(ニューヨーク市ウオーレン中学校長)  
ヘンリー・B・セルコウ博士(弁護士 セルコウ女史の夫君)
- ◆ビ ジ タ ー 川守田完三君 長谷川権九郎君 原忠雄君 横田豊雄君 瀬川祐三君  
氏家義也君 川端久雄君 渡辺音次郎君(以上函館R.C.)  
富田恭君 堀田政治郎君 安藤定三君 国田芳郎君 山内亮一君  
日下部一博君 本間定次郎君 高野武久君 葉袋省吾君(以上函館東R.C.)

◆会長挨拶

今日は珍しいニューヨークよりのお客様セルコウ女史のお話を聞くことになりました。講話のあとで質疑応答をお願い致します。

◆幹事報告

- ①富田特別代表より東クラブよりの地区分割のお知らせがあります。
- ②チャーターナイト準備と、月始めであるので例会後理事会があります。